

所在地

八尾市空港 1 丁目 大阪府中部広域防災拠点内



大阪府広域医療搬送拠点

八尾SCU

Yao Staging Care Unit



災害時医療体制の強化をめざして



健康医療部保健医療室医療対策課

〒540-8570 大阪市中央区大手前 2 丁目

TEL 06-6941-0351 (代) / ファックス 06-6944-6691

メールアドレス iryotaisaku-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp

ホームページ http://www.pref.osaka.jp/iryoy/

平成 24 年 10 月発行

八尾SCU (Staging Care Unit)

SCUとは・・・

大地震などの災害時に、重症患者の症状の安定化を図り、搬送を実施するための臨時医療施設として、必要に応じて被災地域及び被災地域外の航空搬送拠点に、広域医療搬送や地域医療搬送に際して設置されるものです。

被災地内の医療機関への負担集中を軽減するとともに、被災地外の医療機関へ搬送し高度な専門治療を行うことにより、患者の救命率の向上を図ります。

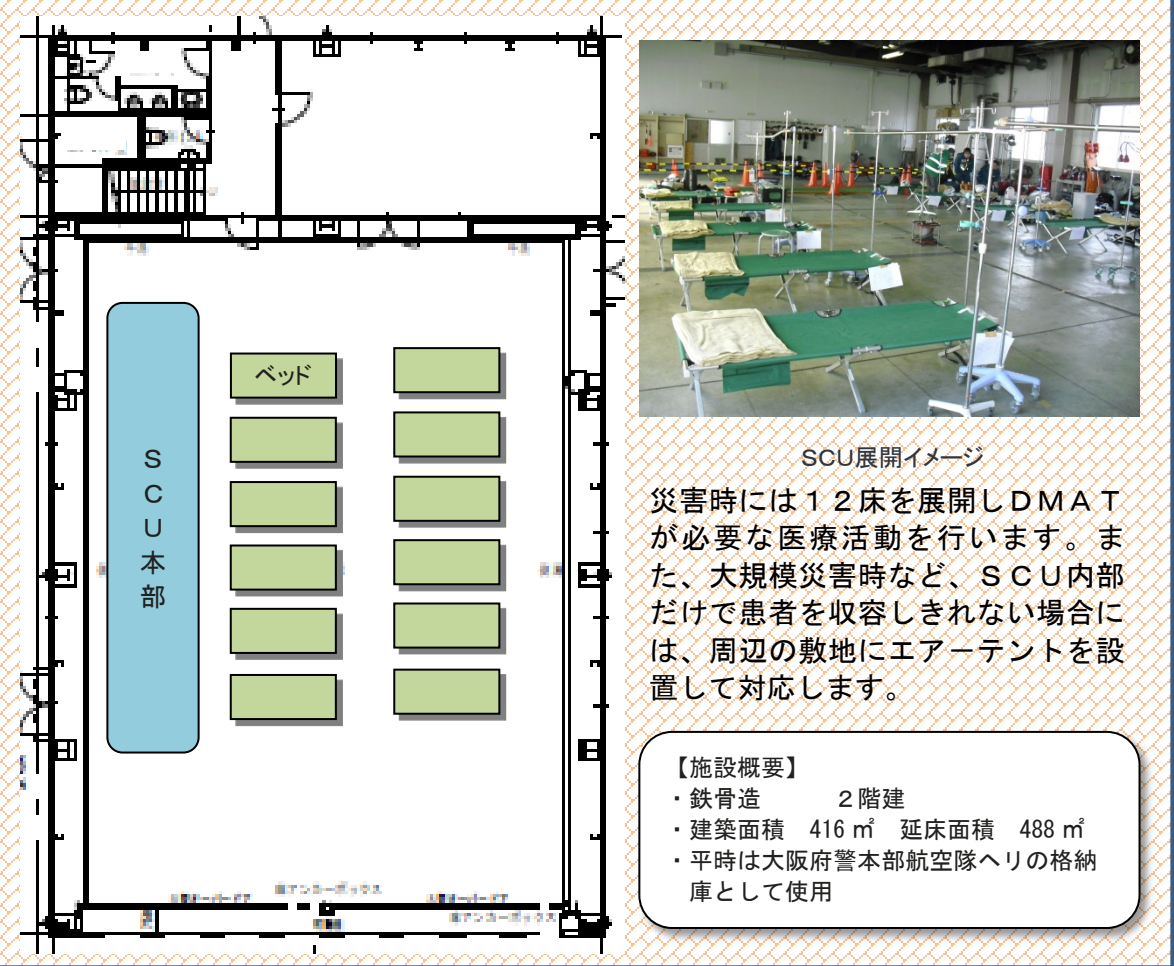
八尾SCUは・・・

八尾空港をはじめ、陸上自衛隊中部方面隊、大阪府警察本部航空隊、大阪市消防局航空隊の拠点などが隣接する大阪府中部広域防災拠点内に位置しており、大規模災害時には、これら関係機関と有機的に連携しつつ、航空搬送拠点の医療施設としての役割を果たします。

SCU設置運用体制

基幹災害医療センターである府立急性期・総合医療センターはもとより、災害拠点病院、自衛隊、警察、消防機関等関係機関の協力を得ながら、SCUの円滑な運用を図ります。

災害時のSCU展開図(イメージ)



SCU展開イメージ

災害時には12床を展開しDMATが必要な医療活動を行います。また、大規模災害時など、SCU内部だけで患者を収容しきれない場合には、周辺の敷地にエアートントを設置して対応します。

【施設概要】

- ・鉄骨造 2階建
- ・建築面積 416㎡ 延床面積 488㎡
- ・平時は大阪府警本部航空隊ヘリの格納庫として使用

先進的なシステムや医療資器材を整備

災害拠点病院、自衛隊、警察、消防機関などと連携し、府内の災害時医療体制の充実を図ります。

災害対応無線患者管理システム(3SPiders)

災害時に病院で多数の傷病者を受け入れる際、患者情報を紙ベースで管理することは非常に困難です。

そこで、スマートフォンやICタグを活用し、患者情報を無線で管理する先進的なシステムを八尾SCUと府立急性期・総合医療センターに導入しています。

円滑に患者情報を共有することにより、災害時の医療活動の充実に努めます。

※ 3SPiders: Smartphone supports patients and selects priority in disaster sites



医療機器

SCUにおける医療を提供するために必要な医療機器を備えています。

- ・生体情報モニター 15台
- ・ポータブル人工呼吸器 6台
- ・SpO₂モニター 12台
- ・輸液ポンプ 12台
- ・携帯用吸引器 7台
- ・携帯型超音波診断装置 2台
- ・自動体外式除細動器 2台
- ・折り畳みベッド 30台
- ・担架 24台
- ・患者搬送用台車 4台
- ・酸素ボンベ
- ・点滴架台 など

通信インフラ(インターネット環境)

広域災害救急医療情報システム(EMIS)や無線患者管理システム等を運用するには、インターネット環境が必要不可欠であることから、SCU内及び周辺に無線LAN環境を整備しています。

また、停電時における通信手段を確保するため、衛星電話や衛星インターネット環境も整備しています。



その他

SCU本部の運営等に必要な物品も備えています。

- ・エアートント 3台
- ・発電機 3台
- ・デジタルトランシーバー 20台
- ・大型モニター 4台
- ・パソコン 8台 など

災害時の患者搬送のイメージ

